

## 試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：早生、高粘度、短形のジネンジョ新品種「ちばとろ」の育成			
<p>[要約] 早生で、粘度が高く、取り扱いが容易な短形のジネンジョ新品種「ちばとろ」を育成した。「ちばとろ」は在来の早生系統「No. 6」と同程度の早生で、粘りが強い。いも長は65cm程度で首部が短く、いも重は700g程度である。</p>			
キーワード ジネンジョ、新品種、倍数性、粘度、ちばとろ			
実施機関名 主 査 農林総合研究センター・育種研究所・畑作物育種研究室、 協力機関 農林総合研究センター生産環境部・植物工学研究室、君津農林振興センター、千葉農林振興センター、海匠農林振興センター			
実施期間 1997年度～2006年度			

### [目的及び背景]

ジネンジョは県下で約10ha、25万本が生産されており、11月～12月のお歳暮等の年内販売が中心となっている。販売規格は長さ110cm以上、重量700～800gを上物としており、長くてかさばり、取り扱いにくいと感じる消費者もいる。本県産のジネンジョの評価をさらに向上させ、販売時期を拡大し、新規需要を開拓するために、育種目標を「早生で、短形、高粘度、良食味」として、ジネンジョ優良品種の育成に取り組む。

### [成果内容]

- 1 育成経過 平成9年に優良系統から得られた種子胚を倍加処理し、得られた96系統について平成13年から選抜を開始した。特性調査、生産力検定試験、現地適応性試験の結果、「千葉2号」が有望であったので、平成19年3月にジネンジョ新品種「ちばとろ」として品種登録出願を行った。
- 2 品種特性
  - (1) 四倍体の雄株品種（在来系統は二倍体）で、早晚性は在来の早生系統「No. 6」と同程度である（表1）。
  - (2) 「No. 6」に比べて、草勢はやや弱く「中」、分枝が少く分枝性は「少」、葉は幅広い形状である（表1）。  
 いもの長さは約65cmと短く、重量は約700gで、従来のジネンジョ系統より首部が短く、肥大性に優れる(写真1、表2)。
  - (3) 食感が滑らかで、食味に優れる。粘度については、すり下ろし時は緩いが、時間の経過とともに高まる特性がある(データ省略)。

### [留意事項]

- 1 種苗増殖は網室内で行い、ウイルスフリーを維持する。
- 2 切りいもは切断面が大きくなり、腐敗を生じやすいため、むかごから一年養成した

一本いもを種いもとして用いる。

- 3 排水不良下で栽培すると、いも内部の黄化症状を発症するおそれがある。圃場の排水条件を良くし、いもの肥大過多を避ける。

[普及対象地域]

県下全域

[行政上の措置]

品種の利用許諾契約により種苗を配付する。平成21年度からは千葉県ジネンジョ生産者連絡協議会が許諾契約を締結している。

[普及状況]

平成23年度から販売用の本格栽培を予定

[成果の概要]

表1 「ちばとろ」の特性

重要な形質	形質	ちばとろ	在来系統「No.6」
植物体	草勢	中	強
	分枝性	少	多
葉の形状	葉の形	尖頭形	尖頭形
	縦横比	1.8	2.2
	葉の大きさ	中	中
	葉縁のくびれ	無	小
むかご	むかごの大きさ	やや小	やや小
	むかごの表皮色	褐	濃褐
いも	いもの形	紡錘	細長
	いも首部の長さ	短	長
	肉色	白	白
	肉の粗密	密	密
	変色性	弱	弱
生育	萌芽の早晩性	やや晩	中
	早晩性	やや早	やや早
その他	倍数性	4倍体	2倍体
	開花性	易	易
	雌雄性	雄	雄

注1)ジネンジョの特性として表記したため、品種登録(ヤマノイモ)における特性表とは一部異なる。  
2)縦横比は15節付近の葉の葉身長/葉幅とした。

表2 いもの特性

品種・系統名	いも長 (cm)	いも重 (g)	肥大程度 (g/cm)	上物率 (%)	粘度 (P)
ちばとろ	63	739	11.7	74	356
在来系統 (No.6)	120	873	7.3	68	258

注1) 平成15年～18年の平均値とした。

2) 肥大程度はいも重/いも長とした。

3) 粘度は、いもの尻部から150gをすり、回転式粘度計で測定し、P(ポイズ)で表した。



写真1 いも外観

左：ちばとろ

右：在来系統「No.6」

[発表及び関連文献]

- 平成21年度試験研究成果発表会(野菜部門2)
- ジネンジョ新品種「ちばとろ」の育成とその特性、千葉県農林総合研究センター研究報告、第2号、2010年
- 倍加ジネンジョの作出とその特性について、農業総合研究センター研究報告、第4号、2005年

[その他]